



山王台だより1月号

令和2年1月7日

横浜市立山王台小学校

〒235-0016

横浜市磯子区磯子5丁目2-1

TEL045(755)1107

【学校教育目標】自分のよさに気づき、相手の気持ちを大切にしながら、ともに高め合って生きる

豊かなほめ言葉

校長 志田 一彦

明けましておめでとうございます。

厳しい寒さの中での年明けとなりました。吹く風は冷たいですが、登校してきた子どもたちの元気な姿が学校に活気を運んできました。今年も子どもたちの健やかな成長を願い、充実した学校生活が送れるよう、教職員一同「チーム山王台」として全力で取り組んでまいります。

さて、12月に行われた「山王台フェスティバル」には多くの保護者、地域の皆様にご来校いただき、ありがとうございました。子どもたちは発表への緊張感や不安感を抱きながらも、これまで積み重ねた練習の成果を見てもらえる、聞いてもらえるという期待感をもって活動に取り組んでいました。発表に向けて努力したこと、そして、多くの方々の前で発表できたことは大きな自信となり、満足感や達成感を得られたことでしょう。「山王台フェスティバル」は子どもたちがステップアップできるとてもよい機会となっています。

学校では様々な機会をとらえて発表の場を設定しています。「山王台フェスティバル」の他にも、「授業参観」「運動会」「音楽朝会」等、子どもたちが一生懸命に活動する様子を保護者や地域の方々にご覧いただき、そのたびに、子どもたちは「頑張ろう。」という前向きな気持ちで取り組んでいます。子どもの頑張る姿を感じたり、小さなことでも成長や進歩の様子がうかがえたりしたら、そこを逃さず認め、ほめていきたいものです。

頑張ったことやできるようになったことを周りの人から認められ、ほめられると、次の活動へ向かう大きな力となります。子どもたちにとっては、ほめてくれる人が多いほど嬉しいですし、ほめ言葉が豊かであるほど、大きな自信となるはずです。

今月末には「作品展」が開催され、子どもたちが図工の時間に取り組んだ多くの力作が体育館に展示されます。

自分が描いたり作ったりした作品を「上手だね。」と同じ言葉で何度も言われるより「空の色が素敵だね。」「形の組み合わせが面白いね。」「今にも動きだしそうだね。」「色づかいを工夫しているね。」「のびのび描けていて迫力があるよ。」等、たくさんの言葉で言われた方が自分の作品のよさに気づき、自信につながるのではないのでしょうか。いつも、同じ言葉でほめるのではなく、ほめる観点を考えながら、相手に伝わる豊かなほめ言葉をたくさんかけることができるよう感性や感覚を磨きたいものです。

1月を迎え、子どもたちは学年のまとめ、進級、卒業に向けての準備を進めていきます。胸を張って新しい一步を踏み出せるよう、そして、一人ひとりが自分の成長に気づき、お互いのよさを認め合いながら過ごせるよう教職員一同、見守り、支えていきたいと思います。

今年も皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。